

建設事業無災害表彰の伝達式を開催いたしました

北見労働基準監督署(署長 吾子 勇二)は、2月24日、無災害で工期を終えた以下の元請施工事業者に対して、厚生労働省労働基準局長名の無災害表彰を伝達いたしました。



(左 北見労基署署長) (中央 現場代理人) (右 安全環境管理部長)



事業場名	株式会社西村組
工事名	サロマ湖漁港外一港 航路拡幅その他工事
工期	令和6年4月24日から令和8年1月9日まで
発注者	国土交通省北海道開発局 網走開発建設部

工事が施工されたサロマ湖は汽水湖で、北海道で1番、全国で3番目に大きな湖です。

本件工事は、第2湖口での航路拡幅工事の他、第1湖口での土砂場外搬出、能取地区及び卯原内地区での屋根施設改修工事等の合計4カ所で行われました。

第2湖口での航路拡幅工事は高波等の自然環境との闘いでしたが、気象状況の把握を的確に行い、工事の進捗状況を発注者と共有し、慎重に作業を進められました。

無災害は、基本的な安全衛生管理、重機等の労働災害防止対策、熱中症予防、安全衛生教育を徹底するなどにより達成されたものです。

また、店社パトロール等より、現場の安全衛生管理水準が維持されるよう指導・支援を徹底されました。

この他、工事発注者主催の工事安全連絡協議会が毎月開催されており、オホーツク海側の港湾関係施設工事の安全パトロールが盛んに行われている地域となっております。

(以下、現場の取組事例の一部です。)

○自然災害防災システム



リアルタイム気象情報を電光掲示板で表示、安全基準値を超えると警告灯で通知



ブラウザで閲覧できる現場のリアルタイム気象情報と予報
現場で安全基準値を超えると管理者にメールで通知

熱中症対策

○ウェアラブル体調管理デバイス



深部体温が規定値を超えると振動と音で熱中症初期症状を警告し、管理者にもメールで通知。
クラウドシステムにより、管理者は着用者の心拍数、現場のWBGT値、位置情報をリアルタイムで把握できる。

安全教育による災害防止対策



グーバー運動シミュレーション



講師による座学



安全啓発映像視聴